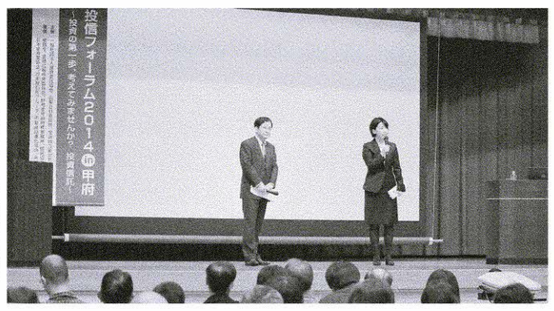

投資信託を活用した資産運用を学んだ投信フォーラム＝甲府・県地場産業センター

## 投信フォーラム2014in甲府

# 豊かな生活へ 投資への一歩

「投信フォーラム2014 in 甲府」（一般社団法人投資信託協会、山梨日日新聞社、全国地方新聞社連合会主催）が11月29日、甲府・県地場産業センターで開かれました。第１部はアナウンサーでエッセイストの小俣雅子さんが講演し、コミュニケーションを円滑にする方法をアドバイスしました。第２部はファイナンシャルプランナーの深野康彦さんが資産運用の必要性を解説後、運用会社の鈴木裕子さんと対談しながら投資信託の活用法を紹介しました。

### 第１部　特別講演
### 「気分のいい日を言葉がつくる」

アナウンサー・エッセイスト　小俣　雅子氏

おまた・まさこ氏　1952年都留市生まれ。アナウンサーとして文化放送に入局、ラジオ番組「吉田照美のやる気ＭＡＮＭＡＮ！」などに出演。山梨日日新聞に「話題のつぼみ」連載中。「富士の国やまなし観光大使」「香港元気大使」在任。東京学芸大客員教授、都留文科大講師。

## 話し方が育む人間関係

言葉一つ、話し方一つで、私たちの毎日は変化します。話し方は他人からも自分からもイメージ付けられるものなのです。

丁寧で上品な話し方をする人は好印象を持たれます。上品な老婦人が道に迷っていた場合、その方の印象に合わせ丁寧な話し方で教えると思います。人は相手に合わせて接し方を変えるからです。それを利用し、今と違う印象を持ってほしい場合、話し方を変えることをお勧めします。

話し方を変えると自分の内面にも影響を及ぼし、表情や立ち居振る舞いが変わってきます。言葉の性質があなたのものとなっていくのです。

言葉でネガティブな思い込みをポジティブに転換することもできます。自分のことを強情だと思っている場合、強情という言葉を「信念が強い」と置き換えます。八方美人を、「気配りができる人」と言うこともできます。失敗は「教訓」となります。言葉というラベルは自由に貼り替えられ、弱点は長所となります。他人にこの貼り替えをすると、人を嫌わないですみます。人間関係に苦しまない基本は人を嫌わないことなので、その手段として有効です。

会話中に人を褒めることは人を高上させます。生理学研究所の研究で、脳は褒め言葉を報酬やギフトとしてキャッチしていることが分かったそうです。褒める時は具体的に、行為と同時に相手自身を褒めると効果的です。

人の話を聞くことも大切です。営業成績の良い人に話しぶりをアンケートした結果、第1位は相手の話を聞くことでした。聞き上手になるためには、話の芽を摘まず、声のトーンを合わせてください。「でも」「しかし」を封印し、相手の言葉を受け止め、「それで」と、並列に置くことをお勧めします。

相手も自分も尊重するコミュニケーションを心掛けてもらいたいです。赤いリンゴを「丸い」と受け取る人と、「赤い」と受け取る人がいます。同じものを見ても、同じではありません。自分が正しいと思わずに、人の意見を聞き、自分の考えを口にしていくことで、お互いに尊重し合ったという実感が残ります。この実感が人の心を温め、人間関係を育んでいくと思います。

### 第２部　セミナー
### 「投資信託を活用した資産運用の考え方 ～デフレからインフレへの大転換が始まっている～」

ファイナンシャルリサーチ代表 ファイナンシャルプランナー　深野　康彦氏

ふかの・やすひこ氏　1962年埼玉県生まれ。クレジット会社を経て独立系ＦＰ会社入社。96年独立。2006年ファイナンシャルリサーチ設立。新聞や経済誌、各種メールマガジンへの執筆や取材協力、テレビ・ラジオ番組出演を通じて、投資の啓発や家計管理の重要性を説いている。

## 余裕資金 預金から運用へ

「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「成長戦略」を三本の矢とする経済政策「アベノミクス」により、円安、株高が進んでいます。物価上昇率対前年比2％を目標に、約15年続いたデフレからインフレへの転換が始まっているのです。

経済成長率は7月から下方修正され、景気はいわれるほど良くならず、厳しい状況が続いています。消費税引き上げは先延ばしになりましたが、いずれ税金分の支出は増えます。物価が上がる中、資産とどのように付き合ったらよいのかを話します。

90年代半ばまでは預金金利は物価上昇に勝っていましたが、金利自由化やゼロ金利政策、異次元緩和政策などにより、預金金利は20年間、零コンマという状態です。物価上昇が概ね預金金利を下回っていたので、資産が目減りし、購買力が低下することはありませんでした。

ところが昨年、物価上昇が預金金利を上回りました。物価は今後2％を目指す一方、預金金利は上がりません。年金においても、GPIF（年金積立金管理運用独立法人）が、これまでの運用では資産を殖やせないため、株式などのウエートを増やしています。預金だけでは今後豊かな生活を送ることは難しいことを理解し、われわれも預金一辺倒から投資へ一歩踏み出さなければなりません。

### 小口資金で可能に

特に注意してほしいのは現役世代よりリタイア世代です。デフレでは年金額が一定で、物価は下がっていたのでリタイア世代にプラスでしたが、今後は物価上昇以上には年金額が増えない状況になります。年金額は物価上昇率からスライド調整率０・９％を差し引くため、かつては物価上昇が2％であれば年金も2％上がりましたが、今は1・1％しか増えません。セカンドライフの考え方の転換期にきており、自助努力による資産運用を考えなければなりません。

資産運用は手数料も安くなり、１万円ぐらいの小口資金でできるようになりました。今年からは20歳以上であれば口座を開設でき、年間百万円の投資額まで非課税となるＮＩＳＡ（ニーサ）も始まりました。

資産運用は、現役世代では将来のためのストック重視で考え、リタイア世代では運用しながら取り崩すキャッシュフローを重視してください。

投資にはリスクがあります。日常的に使うお金や一定期間後に使うお金ではなく、余裕資金を回してください。リスクは収益の不確実性や価格変動、信用、為替変動によります。リスクは振れ幅の大きさと捉え、リスクを取るからリターンである収益を得られ、リスクとリターンは表裏一体になります。

リスクと共存することを覚えていただきたいと思います。株式や債券、不動産などの異なる資産に分ける資産分散、円や米ドル、ユーロなど複数の通貨に分ける通貨分散、購入時期を分ける時間分散をすることで、リスクは抑えられます。株と債券など、性格の違うものを組み合わせることによって価格変動を抑えられるのが分散投資で、その最適な商品が投資信託になります。

### 専門家に運用委託

投資信託は多くの投資家から集めた資金を一つにまとめて運用するので、少額では投資が難しい市場でも運用でき、５００円からでもできます。値動きのある商品であるため、元本の保証はないことは注意してください。

運用対象は国内債券型、国内株式型、海外債券型、海外株式型、それらを組み合わせたバランス型、不動産を組み入れるものなどがあります。日経平均株価を一つの会社に見立て、株式と同じように取引できるものとしてETFがあります。また、不動産に投資するREITは実物不動産投資よりも少額で投資可能です。

銘柄選択の煩わしさを専門家に任せられ、さまざまなニーズに合致した商品が投資信託といえます。

資産運用を取り巻く環境は大きく変化しています。一人一人がお金と真剣に向き合い、資産運用をしていただきたいと思います。

### 対談
## ＮＩＳＡで投資信託 運用しながら勉強も

大和証券投資信託委託株式会社 ファンド・プロモーション部 ディレクティブ・プレゼンター　鈴木　裕子氏

深野　康彦氏

すずき・ゆうこ氏　日系証券会社支店営業を経て、2005年大和証券投資信託委託入社。09年から現職。

**深野**　投資信託の運用会社はどのような会社ですか。

**鈴木**　運用会社の仕事は大きく分けて、投資信託を企画して商品を作る部隊、ファンドマネージャーを中心に投資信託を運用する部隊、投資家や銀行などのサポートを行う部隊の三つがあります。弊社の場合、商品は直接販売せず、銀行や郵便局、証券会社などで販売していただいています。

**深野**　ファンドマネージャーの仕事はどのようなものですか。

**鈴木**　企業が今後どのように利益をあげるのか調査、分析して、日本や世界の経済状況も併せて市場の動向を把握することも大事な仕事です。企業調査をするアナリスト、経済状況・投資戦略を把握するストラテジストと議論を重ね投資の判断をしています。

**深野**　本来なら私たちがしなければならないことを、投資信託を買うことで、プロに任せられますね。ＮＩＳＡはどのように使ったらいいんですか。

**鈴木**　本来は利益に対して20％課税されますが、ＮＩＳＡなら非課税です。20歳以上であれば誰でも利用でき、１年間で百万円まで投資できます。どんな商品でＮＩＳＡを利用したらよいかという相談を受けますが、投資信託なら百万円の枠を無駄なく使え、分散や積立投資ができる利点があります。国債などで運用する安定型の商品から、株式や外国資産に投資をするものまで、いろいろな種類があるのが特徴です。

**深野**　投資に回して大丈夫な資金かを考え、リスクには注意していただきたいですね。

**鈴木**　運用会社のホームページなどで運用レポートを見て、値段の上がり下がりの幅の大きいものはリスクが大きく、小さいものはリスクが小さいファンドと判断できます。リスクの許容量と投資の目的により、購入していただければと思います。

**深野**　ニーズに合ったものを選べますね。

**鈴木**　投資信託は今までは殖やす目的で選ばれていましたが、インフレによる資産の目減りから、大切なご資産を守る役割を担わなければなりません。気軽に選んでもらえるよう、情報を発信していきます。

**深野**　投資のハードルは低くなっています。全てを分かってから投資を始めるのではなく、投資をしながら勉強してもよいと思います。運用しながら勉強し、より豊かな生活を送っていただきたいと思います。

企画・制作／山梨日日新聞社広告局


# 投資の第一歩、考えてみませんか？ 投資信託

**時間を有効活用してリスクを小さく。**
**【資産の分散】【長期の保有】【時間の分散】**
**投資信託はあなたの資産運用のお役にたちます。**

## ガイドブックプレゼント（各1冊セット） 無料

（2014年版）（2014年版）

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。
ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、
下記までご請求ください。
（お届けまで2週間程度かかる場合があります。）
〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階　一般社団法人 投資信託協会YN係
※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

下記からもご請求できます

投資信託協会ホームページで

**特設サイト**　「NISAで投信はじめよう」を開設しました。
映像コンテンツやQ&Aで投資初心者の方にもわかりやすくNISAを解説!

[NISAで投信はじめよう]

**新機能**　投信総合検索ライブラリー
・交付目論見書の閲覧
・基準価額の検索やリターン計算
・取扱販売会社や販売会社別手数料の検索
など

一般社団法人 投資信託協会　www.toushin.or.jp　投資信託協会　検索


紙面・記事・写真・イラスト等の無断掲載・転用はお断りします。 Copyright 山梨日日新聞社